

伊賀のいろいろ

ホームガス課 宮本 剛佳

皆さん、こんにちは。日頃よりアポロ興産株式会社、アポロステーションを御利用くださり有難うございます。
前回までは、歴史上の人物に触れていこうとの事で時代別に歴史の人物について、書かせていただきました。御愛読いただき有難うございます。さて、今回からは、伊賀の事柄についていろいろと紹介させていただければと思います。
伊賀と言えば、皆さんはどのような物を思い浮かべますか？ 忍者、伊賀上野城、かたやきや田楽、羊かん漬け、最近の物では、いがグリオやモクモクファームなど、この他にもいろいろとあると思いますが、現在、伊賀上野のシンボルとしては、やはり上野公園に建つ伊賀上野城ではないでしょうか。

伊賀上野城と言えば、築城の名手といわれた藤堂高虎の手による物と思っている人々もいるのではないのでしょうか？
藤堂高虎の時代は天守閣を建てたものの完成直前になった所で暴風雨になり倒壊したそうで、その後は明治維新になるまで「天守閣の無いお城」だったそうです。そのため藤堂高虎は伊賀にはあまりいなくて津のお城に居る事が多かったそうで、伊賀上野城は城代家老が守っていたそうです。
ちなみに皆さんは「一国一城の主」との言葉を聞いた事はないですか？ その当時、一般的には自分の治める土地には1つのお城しか建てられなかったそうですが、藤堂高虎は伊賀の城と津の城を任されていて、当時の権力者から大変に信頼されていたそうです。



ここで話を現在に戻していきます。伊賀上野城の再建にあたっては当時の地元代議士の川崎克氏や、上野町長の田中善助らが再建に大きく関係しているそうで、川崎克氏は川崎二郎の祖父にあたる人で、田中善助は近代伊賀の発展に大変尽力された人物です。

再建にあたり昭和6年(1931年)に川崎氏が「上野公園に独力をもって天守を建てたい」と上野町に申し出たのが初まりだそうで、昭和7年(1932年)10月14日に起工し、昭和8年(1933年)11月19日に棟上式を挙げたそうです。

約3年の月日をかけ昭和10年(1935年)10月18日に純日本建築桃山様式の粋を集め3層天守2層小天守、城門、城堀など全ての工事を完成したそうです。

伊賀上野城の正式な名前は「伊賀上野文化産業城」と言い川崎氏の「攻防の城は滅ぶことがあっても産業の城は人類生活のある限り不滅である」との言葉に沿って名付けられたのではと思います。

石垣の高さは、日本で1番か2番くらいの高さがあるようで、たまに、自衛隊が訓練として、石垣の清掃をしているそうです。

お城にまつわる私の思い出は、20年ほど前に友人数人と、お花見をしにお城に行きました。3月くらいだったと思いますが3月はまだ寒い時期でお酒の代わりに友人が何故かアイスクリームを買ってきて、皆で「寒い寒い」と食べていると消灯の時間になり、あえなく解散となった事がありました。懐かしい思い出です。

話は変わり、30数年前に森永「エンゼルの森」という計画があったのを知っていますか？
時は東京証券取引所の大納会で株価がバブル期の最高値をつけていた頃で大手菓子メーカーの森永製菓が創業100周年の記念事業として伊賀にテーマパークを含む大規模複合施設「エンゼル・キングダム」と言う壮大な計画を打ちだします。

その内容として「創造の森」・「発見の森」・「やすらぎの森」などからなり、その中には、美術館や博物館、テニスコート、ゴルフ場、ショッピングセンターや遊園地といった物まで作る大規模プロジェクトだったようで、敷地面積は東京ディズニーランドの約1.7倍という物でした。

時はバブル景気の収束にともない平成11年（1999年）7月13日に、県庁で開かれた会議の中で森永側から事業の継続断念の申し入れがあり、それを受けて県も市も計画を断念する事にしたそうです。

森永製菓は関東大震災の頃から救護活動や戦前からの「母の日運動」などの推進など社会貢献活動の伝統があるようで、現在でも伊賀で自然と共に生きる知恵や環境を守る大切さを伝える「エンゼルの森自然塾」を開設しているそうです。

最後に、私は現在、佐那具町にアパートを借りて住んでいるのですが皆さんは、佐那具小唄というのが有るのをご存知ですか？

「伊賀に來たなら佐那具にお寄りヨー石部金吉金仏さんでもとりとるかすおいとる旅に出てより指をば操ればヨー更けてほろほろ啼くこほろぎヨー」と歌われたそうで、この他にも上野小唄、参急沿線小唄があるようで内容については次の回にしたいと思います。一度、地元の歴史について触れてみてはどうでしょうか。

台風、風水害備えについて

ホームガス課 中下 裕司

皆さん、こんにちは。今年のお盆時、8月14日から15日にかけて伊賀地区でも激しい雨風をもたらし、伊賀市では最大瞬間風速29.7m、24時間降水雨量は150.5mmを記録して、豪雨により一部の地域で倒木や道路の冠水、土砂崩れなど甚大な被害が発生しました。また、その影響により停電による断水なども起こりました。

今回は台風、風水害の非常備え5箇条についてご紹介させていただきます。
自然災害による被害を防ぐには、普段からの備えや正しい情報の入手が重要です。被害を未然に防ぐために正しい知識を身につけ災害に備えましょう。



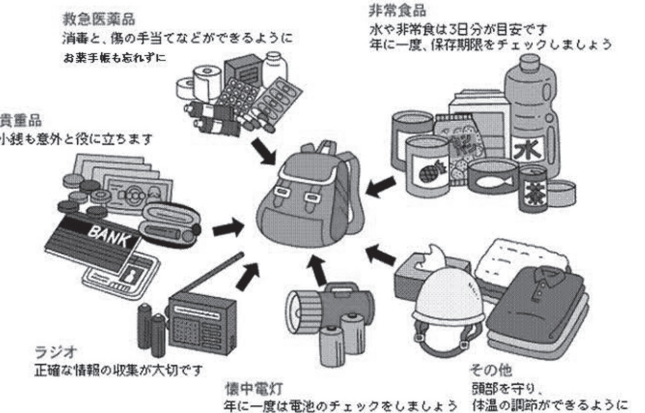
家の外の備えを行う (大雨が降る前、風が強くなる前に済ませましょう)

- 窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強しましょう。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、屋内へ格納しましょう。
- 弊社では専門アドバイザーがいますのでお気軽にご相談下さい。



家の中の備えを行う

- 非常用具を確認しましょう。(懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池式)、救急用品など)
- 室内からの安全対策をしましょう。(窓ガラスに飛散防止フィルムやテープなどを貼ったり、カーテンやブラインドを下ろすなど)
- 水の確保をしましょう。(断水に備えて飲料水を確保したり、浴槽に水を張って生活用水を確保するなど)
- 非常用食品を準備しましょう。(乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰など)
- 弊社でも備蓄水にもなるウォーターサーバーの取り扱いをしております。(ボトル1本12L)
- 停電時に役立つポータブル発電機も販売しております。



避難場所の確認を行う

- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しましょう。
- 日頃から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしましょう。

気象台が発表する「台風情報」、「警報・注意報」など情報の入手を行う

- 気象台では、台風の影響が考えられる場合や雨などにより重大な被害が発生する恐れがあるときには、「台風情報」や「警報・注意報」を発表します。テレビやラジオ、気象台ホームページから最新の情報を入手してください。

台風接近中は不要な外出は控え、危険な場所へは近づかない！

- 雨で増水した小川や側溝は境界が見えにくくなり、転落事故などが発生します。また、山崩れ・がけ崩れも起こりやすくなります。日頃は安全と思われている場所でも油断せず、危険な場所へはむやみに近づかないようにしましょう。
- 台風が接近し暴風となると、風により物が飛ばされたり、飛んできた物にぶつかったり、車が転倒したりするおそれがあります。また、風に煽られてドアや扉に手や指を挟まれるなどの被害も発生します。不要な外出は避け、台風が過ぎ去るのを待ちましょう。また、河川の増水など台風が通過した後もしばらくは危険な状態が続きます。見に行くなどの危険な事はやめましょう。